

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2日本ビル
 株式会社 ルネサス テクノロジ
 問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>
 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-16C-A163A/J	Rev.	第1版
題名	M32C/87 グループ シリアルインタフェース (シリアル I/O) UART5、UART6 に関するドキュメントの訂正		情報分類	技術情報	
適用製品	M32C/87 グループ	対象ロット等	関連資料		

UiC0レジスタ(UARTi送受信制御レジスタ0)(i=0~6)の記述に訂正がありますのでお知らせいたします。
 対象ドキュメントをご使用の際は、ご留意のほどよろしくお願いいたします。

1. 対象ドキュメント

M32C/87 グループ ハードウェアマニュアルRev.0.20

M32C/87 グループ (M32C/87、M32C/87A、M32C/87B)ハードウェアマニュアルRev.1.00

2. 訂正箇所

対象ドキュメントの修正箇所は次のとおりです。

M32C/87 グループ ハードウェアマニュアルRev.0.20

P194 図16.7 U0C0~U6C0 レジスタ

M32C/87 グループ (M32C/87、M32C/87A、M32C/87B)ハードウェアマニュアルRev.1.00

P196 図17.7 U0C0~U6C0 レジスタ

Rev.1.00を例にとり、修正内容を次ページより示します。

UiC0レジスタ(UARTi送受信制御レジスタ0)(i=0~6) (誤)

UARTi送受信制御レジスタ0 (i=0~6)

ビットシンボル	ビット名	機能	RW
CLK0	UIBRGカウントソース 選択ビット	b1 b0 00 : f1を選択 01 : f8を選択 10 : f2nを選択(注2) 11 : 設定しないでください	RW
CLK1			RW
CRS	CTS/RTS機能選択ビット	CRD=0のとき有効 0 : CTS機能を選択 1 : RTS機能を選択	RW
TXEPT	送信レジスタ空フラグ	0 : 送信レジスタにデータあり(送信中) 1 : 送信レジスタにデータなし(送信完了)	RO
CRD	CTS/RTS禁止ビット	0 : CTS/RTS機能許可 1 : CTS/RTS機能禁止	RW
NCH	データ出力選択ビット(注1)	0 : TXDi/SDAi端子、SCLi端子はCMOS出力 1 : TXDi/SDAi端子、SCLi端子はNチャネルオープンドレイン出力	RW
CKPOL	CLK極性選択ビット	0 : 転送クロックの立ち下がりで送信データ出力、立ち上がりで受信データの入力 1 : 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力、立ち下がりで受信データの入力	RW
UFORM	転送フォーマット選択ビット(注3)	0 : LSBファースト 1 : MSBファースト	RW

削除

注1. P7_0 / TXD2、P7_1 / SCL2はNチャネルオープンドレイン出力です。CMOS出力は設定できません。
UART5、UART6ではTXDi端子になります。

注2. TCSPRレジスタのCNT3~CNT0ビットで分周なし(n=0)または2n分周(n=1~15)を選択できます。

注3. UiMRレジスタのSMD2~SMD0ビットが“0012”(クロック同期型シリアルI/Oモード)、または“1012”(UARTモード転送データ長8ビット)のとき有効です。
 SMD2~SMD0ビットが“0102”(I²Cモード)のときは“1”に、“1002”(UARTモード転送データ長7ビット)または“1102”(UARTモード転送データ長9ビット)のときは、“0”にしてください。

図17.7 U0C0~U6C0レジスタ

UiC0レジスタ(UARTi送受信制御レジスタ0)(i=0~6) (正)

UARTi送受信制御レジスタ0 (i=0~6)

ビット シンボル	ビット名	機能	RW
U0C0~U4C0	シンボル	アドレス	リセット後の値
U5C0、U6C0	U0C0~U4C0	036C16、02EC16、033C16、032C16、02FC16番地	0000 10002
	U5C0、U6C0	01C416、01CC16番地	0000 10002
b7 b6 b5 b4 b3 b2 b1 b0			
CLK0	UiBRGカウントソース 選択ビット	b1 b0 0 0 : f1を選択 0 1 : f8を選択 1 0 : f2nを選択(注2) 1 1 : 設定しないでください	RW
CLK1			RW
CRS	CTS/RTS機能選択ビット	CRD=0のとき有効 0 : CTS機能を選択 1 : RTS機能を選択	RW
TXEPT	送信レジスタ空フラグ	0 : 送信レジスタにデータあり(送信中) 1 : 送信レジスタにデータなし(送信完了)	RO
CRD	CTS/RTS禁止ビット	0 : CTS/RTS機能許可 1 : CTS/RTS機能禁止	RW
NCH	データ出力選択ビット(注1)(注4)	0 : TXDi/SDAi端子、SCLi端子はCMOS出力 1 : TXDi/SDAi端子、SCLi端子はNチャネル オープンドレイン出力	RW
CKPOL	CLK極性選択ビット	0 : 転送クロックの立ち下がりで送信データ出力、 立ち上がりで受信データの入力 1 : 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力、 立ち下がりで受信データの入力	RW
UFORM	転送フォーマット選択ビット (注3)	0 : LSBファースト 1 : MSBファースト	RW

- 注1. P7_0 / TXD2、P7_1 / SCL2はNチャネルオープンドレイン出力です。CMOS出力は設定できません。
- 注2. TCSPRレジスタのCNT3~CNT0ビットで分周なし(n=0)または2n分周(n=1~15)を選択できます。
- 注3. UiMRレジスタのSMD2~SMD0ビットが“0012”(クロック同期型シリアルI/Oモード)、または“1012”(UARTモード転送データ長8ビット)のとき有効です。
SMD2~SMD0ビットが“0102”(I²Cモード)のときは“1”に、“1002”(UARTモード転送データ長7ビット)または“1102”(UARTモード転送データ長9ビット)のときは、“0”にしてください。
- 注4. UART5、UART6では予約ビットです。“0”を設定してください。

図 17.7 U0C0~U6C0レジスタ